海の星

浜松海の星高等学校通信　2016年度　No. 6

H28. 8. 31 発行

新学期の挨拶

―「赦(ゆる)す」ということ―　　校長　重信　明利

罪を犯した人間に対し、その罪を赦(ゆる)さないのは、その人の人生の一部を否定し、その後の自由を奪うことになります。罪に相応した罰(ばつ)は、それが肉体的制裁であっても社会的制裁であっても、それが強制的に執行される限り人間の自由を奪うものとなるのです。

罪を犯した人間が必然的に裁かれるのは、その人間が罪を認め、改心したかどうか、客観的にはわからないからです。わからない限り法に基づいて最低限の罰を罪人に与え、罪の重さを認めさせ、改心させる必要が生じます。ただ、この最低限の罰を決める際、「罪の重さ」もさることながら、やはり「改心の可能性」も重要な争点となります。改心の可能性が低ければ罪人は永遠にその自由を奪われる可能性が高くなるということになります。

マタイによる福音書18章21・22節では、ペトロの「兄弟がわたしに対して罪を犯したなら、何回赦すべきでしょうか。七回までですか。」 という質問に対して、イエスは「七回どころか七の七十倍までも赦しなさい。」と答えています。

「やられたらやり返す」「目には目を」といった復讐法が原則の古代バビロニアの風習からすれば、これら「赦す」という概念は当時の人の心情にはほとんどありませんでした。

そのような時代に、イエスは罪を犯した人間を赦すことによって、その精神を不自由から解放し、改心させるという方法をとるべきだと主張しているのではないでしょうか。罪人から自由を奪うことは「改心する自由」も奪うことになります。イエスはこの「改心する自由」を永遠に奪わないように、赦すことの大切さを主張し、また、罪人から勝手に自由を奪うことそのものが、ある意味「罪」であると言っているのかもしれません。

２学期を迎えるにあたって　　生徒部長　鬼石勇樹

この夏は世界中が注目したリオデジャネイロオリンピックが開催され、日本でも連日のように日本人選手の活躍が伝えられ、大きな歓喜と感動に包まれました。しかし、一方では楽しいはずの夏休みに少年少女を巻き込む事件・事故が起きていたのも事実です。埼玉県では、16歳の少年が河川敷で遺体で発見される傷ましい事件がありました。この事件の加害者も 10 代の少年達でした。また、鹿児島では無免許運転により、17歳の２人の少年の命が失われました。今回のオリンピックで大活躍した将来有望な若い選手たちと同様に、これらの事件・事故に関わる少年たちにも夢見る将来があったはずです。

現在、休暇中の本校生徒が関わる事故や事件は報告されていません。本校の生徒にとって、健全な休暇であったことに安心し、改めて保護者の皆様のご協力に感謝いたします。2 学期のスタートにあたり、ご家庭で休暇の反省と 2 学期の目標について、お話し頂ければ幸いです。

2 学期も生徒たちが授業や学校行事・部活動等に真剣に取り組むことで充実した学校生活を過ごせるように、ご家庭と協力して生徒指導を行っていきますので、ご理解・ご協力をよろしくお願いいたします。

夏期勉強自主トレーニング

８月6日(土)および７日(日)、11日(木)12日(金)の４日間、本校教育会館にて３年生の希望者を対象とした“勉強自主トレーニング”を行いました。今年度は総合・特別進学コース生徒計14名が参加し、８時半から17時まで集中して各自の学習を効果的に進めることができました。

夏期休暇中　各部活動等の報告

部活名	大会結果・活動報告等
吹奏楽部	8 月 28 日(日)　第 71 回**東海吹奏楽コンクール**　金賞(3 位) ※10 月 23 日(日)　第 64 回**全日本吹奏楽コンクール**　出場決定　全国進出
ﾊﾞﾄﾞﾐﾝﾄﾝ部	8 月 1 日(月)3 日(水)　第 28 回**静岡県高等学校バドミントン選手権大会**　西部地区大会 [一般女子ダブルス]　優勝　渡辺莉央･茉央　3 位　村上まき･鈴木日緒理　大林真優･村上りお [一般女子シングルス]　2 位　渡辺莉央　3 位　鈴木日緒理 8 月 17 日(水)第 28 回**静岡県高等学校バドミントン選手権大会**　県大会 [一般女子ダブルス]　3 位　渡辺莉央･茉央 8 月 27 日(土)　**静岡県私立高等学校体育大会**バドミントン競技　学校対抗 3 位
テニス部	8 月 8 日(土)9 日(日)**静岡県高等学校新人体育大会**　西部地区予選 シングルス　ベスト 64　吉野優果
弓道部	8 月 20 日(土)21 日(日)　第 71 回**国民体育大会第 37 回ブロック大会　出場** 静岡県代表　田之岡杏菜
陸上競技部	8 月 27 日(土)28 日(日)　第 59 回**東海陸上競技選手権大会** [女子 4×100mR　予選]　大石愛、菊地美優、雪野紗代、菊地真優 [100m]　大石愛　[800m]　平井美羽
サッカー部	第 25 回**全日本高等学校女子サッカー選手権大会静岡県予選大会** 8 月 20 日(土)　1 回戦　対吉原高校　0－2　8 月 27 日(土)　2 回戦　対清流館高校　0－8

９月の行事予定

1	木	避難訓練(45分授業)	19	月	【敬老の日】
2	金	[AM]1･2 年生実力テスト･スタディサポート 末広会総会	21	水	≪全校集会≫
			22	木	【秋分の日】
3	土	授業日 [PM]世界遺産検定･時事能力検定	26	月	体育祭総合練習(5･6･7時限授業カット)
			27	火	体育祭準備(45分授業)
7	水	≪学年集会≫	28	水	体育祭
10	土	進研マーク模試(3年生特進コース＋希望者)	30	金	体育祭予備日
17	土	授業日			

各担当者からのメッセージ

✎進路部より　　進路部長　　佐藤大介

３年生の保護者の皆様へ。

いよいよ入学・入社試験に向けて動き出す時期となりました。今月は今後の流れをお伝えします。

指定校推薦・国公立大学公募推薦については、８月 31 日(水)～９月２日(金)が、校内における「指定校推薦・国公立大学公募推薦希望票」の提出期間となっています。希望者には９月中旬に校長面接を行い、校内選考を経た上で、下旬に結果を伝えます。(第１回選考後、募集人員に空きのある学校･学部については､10 月中頃まで随時希望を受けつけ､選考を行います。)

上記の希望が通った生徒と、AO入試・公募推薦受験生徒には、小論文・面接指導を行います。希望者は「個別指導申し込み書」を担任に提出することになっています。受験校が定まったら、早目に行動に移すようお口添えください。

一般受験をする生徒には、９月中旬にセンター試験説明会を行います。センター試験の実施日は、平成 29 年１月 14 日(土)・15 日(日)です。出願期間は９月 27 日(火)～10 月７日(金)です。(出願は学校で一括して行います。) 総合進学コースの保護者の皆様にご連絡します。センター試験の受験は希望制ですが、受験者は、12 月 12 日(月)から始まる特別進学コース対象のセンター特別日課に参加することができます（その時点までに進学先が決定した場合は除きます)。志望校の受験制度にセンター試験枠がある場合は、積極的な受験をお薦めします。

最後に就職試験についてですが、９月３日(土)から志願する企業に調査書と履歴書を提出します。９月 14 日(水) 以降に試験が行われ、10 月初旬に結果が出ます。履歴書の書き方の指導や面接の練習は学校で行いますが、ご家庭でも人生観や職業観について語りあうなど、ご息女にとって人生の節目が有意義なものとなるようサポートをお願いいたします。

１･２年生の保護者の皆様へ。９月２日（金）に、実力テストを行います。特進コースは９月下旬に、総合コースは 10 月初旬に結果が返却されますので、是非目を通していただき、ご息女の学力を把握なさってください。

２年生の保護者の皆様へ。11 月5日（土）14：00～本校において「４年制大学進路ガイダンス」を開催いたします。内容は、現在の４年制大学をとりまく受験状況、保護者としてできること等の予定です。出席の確認は、修学旅行後にご息女を通じて行います。お時間が許すようでしたらご参加ください。

✎生徒会より　ー体育祭についてのお願いー　　生徒会顧問　伏見萌

生徒会主催の行事へのご来校、ご協力ありがとうございます。
2 学期も「体育祭（９月 28 日)」に「合唱コンクール（11 月５日)」と、生徒たちの活躍の場がございます。ぜひ、ご家庭でも練習の様子を聞いていただき、応援の言葉をかけていただけたらと思います。

昨年、体育祭では「駐車証」を発行し、先着順ではありますが駐車場を開放いたしました。今年度も開放する予定でしたが、

・スペースに限りがあり来校される方すべてにご利用いただけないということ。
・幼稚園の送迎の時間と重なってしまい、幼稚園側に迷惑をかけてしまうということ。

等を考え、全面禁止とさせていただくことになりました。

誠に申し訳ありませんが、お車でのお越しはご遠慮ください。ご理解、ご協力のほど、よろしくお願いいたします。

TO１学年

１学年主任　土井則子

2016 年夏は最高に熱い夏となりました。個人的には諸々の研修会、5 日間連続 30 時間講習会に参加するなど、久しぶりに学生に戻って勉学に励みました。また、普段はなかなか会うことができない恩師をはじめ、旧友にも再会し親交を深めることができました。この中で学んだことは、世の中が想像していた以上に速い速度で変動しているということです。日本と諸外国との距離が良い意味でも悪い意味でも非常に緊密な関係となり、もはや協力、協働作業でなければ身動き困難な状況にあると感じました。そして、将来この国の担い手になる若い十代の子供たちが、このめまぐるしく変動する社会の中で、‘自分’というアイデンティティをしっかりと持ち、社会の中での自分の役割を認識していくことが大切であると実感しました。気持ちを新たに 2 学期も、学年一同ご息女に向き合って参ります。今学期は体育祭をはじめ、学校行事が盛りだくさんありますので、保護者の方々もぜひご来校ください。

TO２学年

２学年主任　鈴木　富美子

マルクス・レームという走り幅跳びの選手を知っていますか。彼は 14 歳の時に事故で右足の膝から下を失いましたが､昨年の世界選手権で健常者を上回る 8m40cm を跳んで優勝しました。もちろん並外れた努力の結果なのですが、同時に欠けている足を補うために彼の「脳力」が発達し道具の身体化が起きたことが一因と考えられるそうです。本来なら伝わらないはずの脳からの指令が義足に届くため、踏み切り足の義足を自由に操れるのです。

この夏、さまざまな場所で部活動に励む姿を見かけました。練習の過程で、自分の弱点と向き合わざるを得ない場面もきっとあったと思います。あなたはどうやってそれを乗り越えましたか？人よりも劣っていると感じる部分があったとしても、人間には足りなければそれを補う力が備わっています。細胞が約 3 ヶ月で入れ替わるのもそのためかもしれません。私たちは 1 年に 4 回「生まれ変わっている」とも言えます。この夏の頑張りの成果は、秋も深まったころに実感できるはずです。レーム選手はもうすぐ始まるパラリンピックにドイツ代表として出場します。努力を重ねて不思議な力を開花させた彼のジャンプをぜひ見てください。そして勉強でも部活動でも「今」を大切に 1 つずつ前向きに取り組んでください。2 学期のあなたたちの頑張りに期待しています。

TO３学年

３学年主任　砂子幸弘

高校生活最後の夏休みが終わりました。受験勉強が計画通りできた者、そうでなかった者、毎日部活三昧だった者、相変わらず自分に甘く不規則な毎日を送ってしまった者など様々だと思います。私は就職希望者に話をしている中で、この夏休み中に職場見学をするように指導しました。会社から送られてくる求人票を見て勤務場所や給与等の条件を考えた上で見学をするのです。これは進学希望者がオープンキャンパスに参加するようなものです。今年の希望者は全員がこの夏休みに見学をしました。そしてほとんどの者が複数会社訪問を果たしました。普段、授業中に居眠りをしていたり学習意欲が感じられなかった者も、職場を訪れて改めて働くことの重みを実感できたようです。また 2 学期に入ると推薦入試が始まります。進学も就職も親任せではなく自分が真剣に将来について考えていってほしいと思います。

TEL：(053) 454-5376　　FAX：(053) 453-4719
学校ホームページ「http://seisei.uminohoshi-h.ed.jp/」